

.....

.....

.....

#### 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

1

## 1 1. 事例発生経過。

|       | 誰(何)が          | なにをした                             | その他・備考など                   |
|-------|----------------|-----------------------------------|----------------------------|
| 経過 1  | 当事者 A、補助者、要救助者 | 準備運動、アップを終え救助大会に向けたほふく救出訓練を開始する。  |                            |
| 経過 2  | 当事者 A、補助者、要救助者 | 5 回ほふく救出訓練を行い 6 回目に入る。            |                            |
| 経過 3  | 当事者 A          | 呼吸器を担ぎ、要救助者を救出するためロープを右手に持ち煙道に入る。 |                            |
| 経過 4  | 当事者 A          | 煙道内を直進中、ロープを踏み、右手をひねり拳を煙道床でぶつけ転倒。 | 右手をひねり拳を煙道床にぶつけた際、中手骨骨折する。 |
| 経過 5  | 当事者 A          | 煙道から左手で負傷した右手を支え退出する。             |                            |
| 経過 6  |                |                                   |                            |
| 経過 7  |                |                                   |                            |
| 経過 8  |                |                                   |                            |
| 経過 9  |                |                                   |                            |
| 経過 10 |                |                                   |                            |

## 【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                        |    |
|----------------------------------------|----|
| ・ 早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい |
| ・ 被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | はい |
| ・ 周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | はい |

b. 注意力が欠如していた

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ・ 1 つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。      | いいえ |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                             |     |
|-----------------------------|-----|
| ・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい  |
| ・ 活動に対する経験が不足していた。          | はい  |

d. 心身の不調があった

|            |     |
|------------|-----|
| ・ 体調が悪かった。 | いいえ |
| ・ 悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                      |     |
|----------------------|-----|
| ・ 装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | はい  |
| ・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・ 必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                   |     |
|-------------------|-----|
| ・ 狭隘な場所であった。      | はい  |
| ・ 暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・ 野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・ 現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                   |     |
|-------------------|-----|
| ・ 足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・ 足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                      |     |
|--------------------------------------|-----|
| ・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・ 指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                 |     |
|-----------------|-----|
| ・ 隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・ 隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|     |
|-----|
| いいえ |
|-----|

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

もう一度、ほふく救出訓練に係る隊員の動作において危険要素を含んでないか確認し、ミーティング等とおして安全管理意識の高揚を図った。

○装備・資機材の対策について

事故の起きた煙道内だけではなく、本救助訓練に係る装備及び施設の点検、整備等を行い危険因子を排除した。

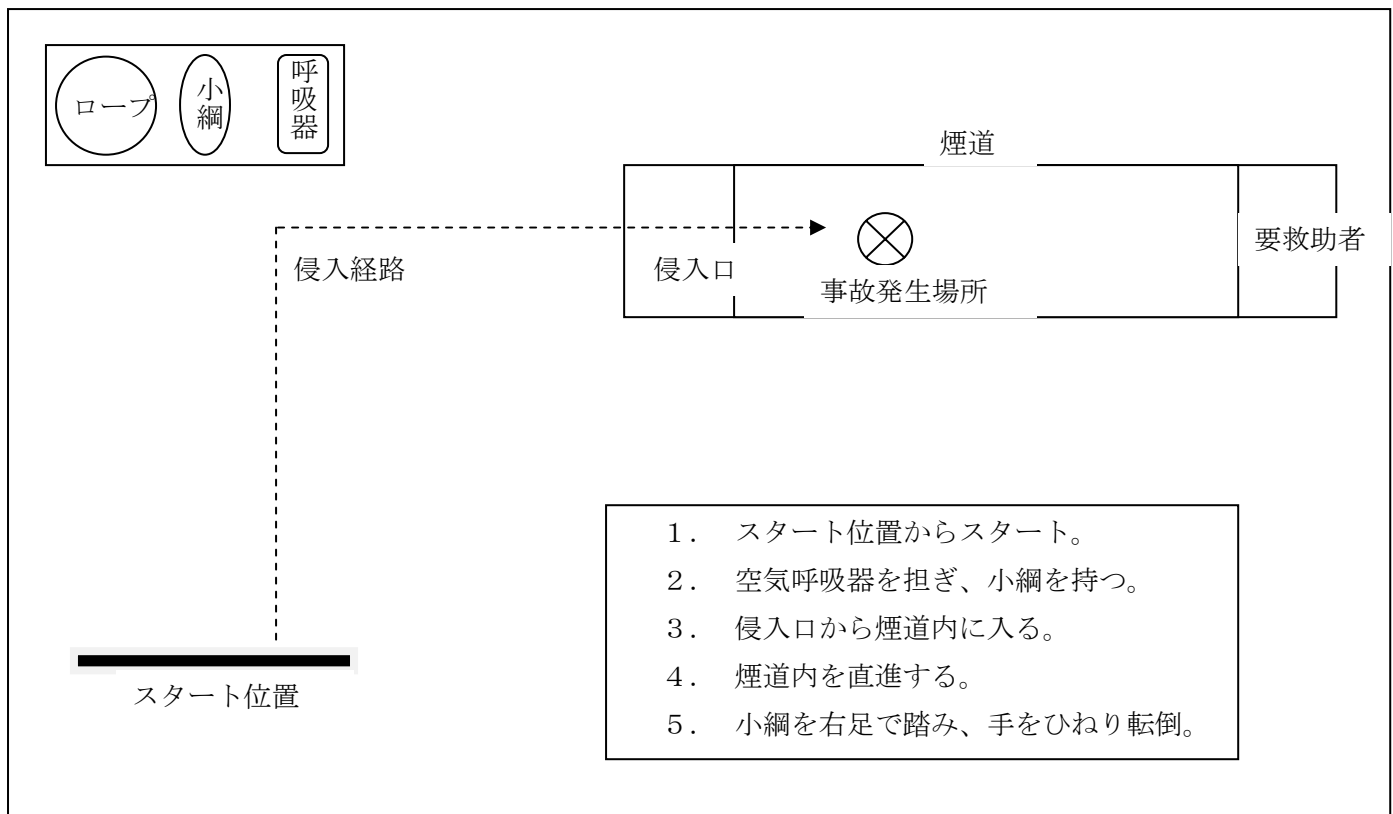
○活動環境の対策について

監督若しくは隊員により、訓練の安全に関することについて、ささいなことでも言うようにし、そのことについてその都度解決策を考え改善した。また、隊員の集中力及び消耗体力に今まで以上に気を使い管理監督した。

○指揮・情報伝達の対策について

なし

事故発生現場見取図



事故発生状況詳細図

